

令和元年度

牧之原の子どもたちの学力・学習の様子

牧之原市教育委員会、牧之原市菊川市学校組合教育委員会

■全国学力・学習状況調査について

子どもたちの学力や学習状況を把握し、今後の教育活動の改善に役立てるために実施されるものです



【質問紙調査】

学習意欲、生活習慣、学習の環境等についての意識調査

(国語)

小学校・中学校

(算数・数学)

小学校・中学校

(英語)

中学校

選択式、短答式、記述式で出題されています

教科調査の状況

小学校	国語 (14問)	算数 (14問)	
(平均正答数の全国結果との比較)	ほぼ同じ	ほぼ同じ	
中学校	国語 (10問)	数学 (16問)	英語 (21問)
(平均正答数の全国結果との比較)	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ

※「ほぼ同じ」とは、全国平均正答率との差が0.5問以内のことを示す。

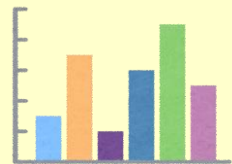
国語

本や文章全体を概観して読む力がついています。
目的や意図に応じて文章を読み、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことには課題があります。また、普段の生活の中で、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことも意識していきたいです。



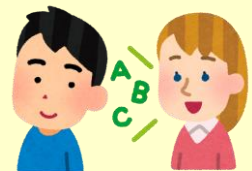
算数・数学

棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る力がついています。
複数のデータを読み取り、筋道を立てて考えた経過を記述する問題には課題が見られます。問題解決の方法を、数学的に説明する力をつけていきたいです。



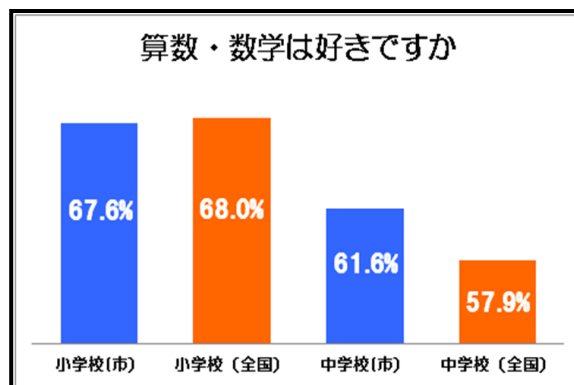
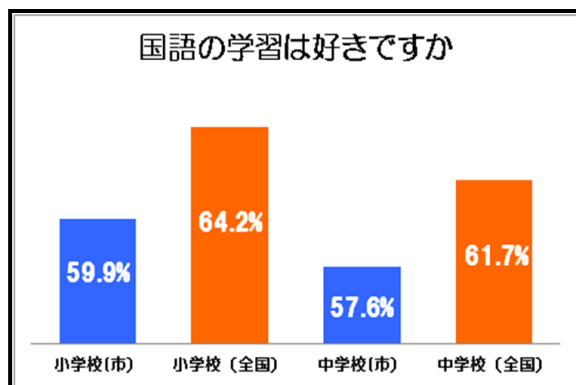
英語

日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力がついています。
自分の考えを英文で書く問題や即興でアドバイスできるかどうかを測る問題が出題されました。文法や単語を知識として理解していても、活用することに対しては課題が見られます。今後、こうした力をつけていきたいです。



■ 質問紙調査にみる牧之原の子どもたちのよさと課題

学習意欲について



「教科が好き」になることは、学力向上の大きな要因の一つです。学校では、主体性や、多様性を大切に魅力ある授業を追究しています。「国語が好き」「算数・数学が好き」という児童・生徒が増えるとよいです。

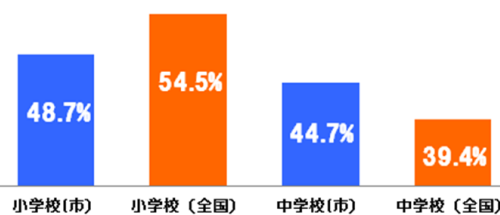
家庭・地域との連携について

家庭・地域と学校が共有・連携し、協働することで子どもたちの安定した心を育みます。

また、各校で地域のよさを知り、発信する学習を行っていますが、「自分に何ができるか」という視点で、主体的に参加できるとさらに素晴らしいです。

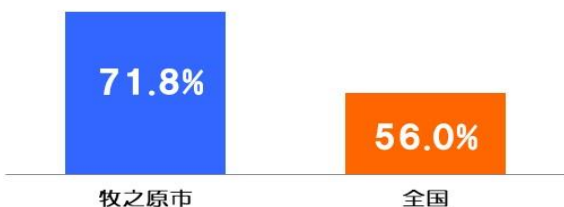


地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

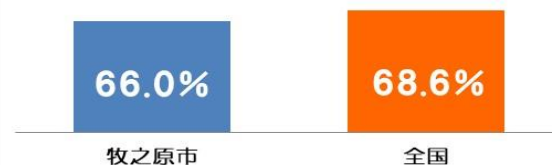


英語教育について

英語の勉強は好きですか
(中学校)



外国人と友だちになったり外国のことについてもっと知りたいと思いませんか (小学校)



あなたはこれまで学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会がありましたか
(中学校)



社会の急速なグローバル化の進展の中、英語教育に関心が高まっています。

これからも、「英語が好き」という気持ちを大切に、英語で積極的にコミュニケーションを図りたいです。

